

佐藤ひろと 情報通信 No.6



New Komei

予算特別委員会 (平成18年度)

登壇者: 佐藤ひろと

発行日: 2006.08

企画総務領域所管分の質疑 (2006. 03. 14)

<入札制度の今後の課題について >

●公共工事の入札では、入札参加者の誠実な積算が前提だが、落札するために不当な低価格で入札するダンピングのケースが多く見られる。公正な競争を確保し工事の質が低下しないよう最低制限価格の設定対象公示を拡大せよ。さらに適正な履行が可能であるか調査した上で落札者を決定する低入札価格調査制度の実効性についての見解を示せ。

●区内事業者でありながら、営業実態のないなどのケースも多い。実態調査の強化と適正な業者の認定に向け、どのように取り組んでいるのか。また、区内で営業実態のない事業者の入札参加を事前に阻止するため、区内事業者の認定基準を一層厳格にせよ。

<自治体シンクタンクについて >

●区は、18年度からシンクタンクの設置に向けた調査研究に着手するが、設置体系について区のを考えを示せ。また最近のシンクタンクは研究重視から実務重視へとシフトしている。こうした傾向を踏まえ、区がシンクタンクを設置する際は、適材適所の人材を登用し、一定の権限を与えよ。

区民生活領域所管分の質疑 (2006. 03. 16)

<ロハス (LOHAS) 市場について >

●自らの健康や地球環境への影響を重視した生活スタイルLOHAS (ロハス) の視点に立って、今後の環境施策を展開することが不可欠だ。策定中の環境行動指針では、LOHASに取り組む事業者を区が認定し、区民の環境配慮行動を促していく制度の創設も検討されているが、導入に向けた具体的な取り組みは進んでいるのか見解を示せ。

●環境にやさしい農業に取り組んでいる農家を行政が支援することも必要だが、LOHASの考えを取り入れ「環境こだわり農業」などとネーミングしてPRを強めたり、生産物を世田谷ブランド農産物として認証し販売促進に結びつけるなど、支援策を工夫せよ。

<強い農業づくりについて >

●区内農業の振興策を強力に進めるべきだ。国の農業関係補助金制度や農地制度の改正の利点も活かしつつ、新たに発足する産業政策部や産業振興公社で農家と消費者の交流を促す施策や高齢化による後継者不足に歯止めをかける施策を積極的に打ち出せ。

佐藤ひろとの活動トピックス



芦花公園花の丘フェスタ“さくらまつり”に参加して (2006.04.02)



第7回「シュガー杯」を船橋小学校新体育館にて開催。区内小学校PTAバレー部12チームが参加して熱戦を展開。(2006.04.09)



成城消防団可般ポンプ操法大会に3年連続して「3番員」選手として参加しました。前年は優勝でしたが、今年は惜しくも連覇ならず (2006.05.28)



子ども家庭支援事業の一環として新設された「子育て総合センター」を訪問 (2006.06.14)



区議団行政視察で、長野県松本市を訪問。「まるごと博物館」事業などの観光振興施策について調査 (2006.06.19)

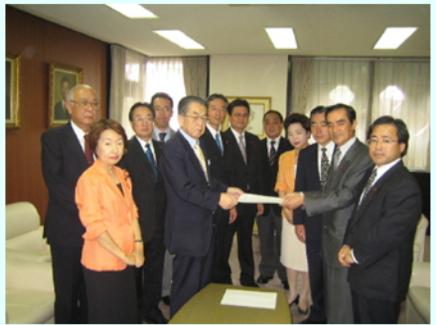


本年第2回目となる総支部役員研修会で東京都庁を代表の皆さんと視察 (2006.06.22)



区議会企画総務常任委員会視察で、姫路市と西宮市を訪問。電子自治体の最先端事業と行財政改革について意見交換 (2006.07.13)

-最新情報です-



少子化対策を急げ！ 子ども医療費無料化拡充へ 中学校3年生まで 拡大を要望

公明党世田谷区議団は、小学校3年生までの医療費無料化や子ども基金の創設など、常に子どもとその家庭のための政策を提言してきました。このほど区議会公明党は、医療費無料化を義務教育終了時の中学校3年生までとする要望書を、6月20日、熊本哲之世田谷区長へ提出しました。これからも「チャイルドファースト社会」実現へ向け、全力で取り組んでまいります。(2006.06.20)